

道路行政セミナー2014年1月号 NO.064 2014年1月22日発行
ポイント

◆◆特集◆◆

★道路空間を利用した津波避難タワーの建設★
(静岡県榛原郡吉田町 防災課)

静岡県吉田町では、道路上空に橋梁形式の避難施設を設けることで、用地買収に必要な時間や費用の抑制を実現したが、この全国的にも例のない建設手法について、その経緯や法的位置づけ、設計における準用基準の整理など、山積する課題解決に向けた取り組みを紹介します。

◆◆道路占用Q&A◆◆

★太陽光発電設備等の道路占用許可対象物件の追加について③★
(国土交通省 道路局 路政課 道路利用調整室)

太陽光発電設備等の道路占用許可対象物件の追加について解説する。

◆◆道路管理事務等担当職員による論稿紹介(第1回)◆◆

★道路管理瑕疵に伴う国家賠償について★
—請求事案の分析と事務処理上の改善点—
(国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部 公物管理企画課 課長補佐 神山孝治)

国土交通省道路局総務課道路政策企画室では、道路管理事務に興味のある方等より広く論稿を募集しておりますが、皆様の実務の参考のため、このコーナーにおいて掲載することとしました。

今回は第1回の掲載として、北海道開発局札幌開発建設部の神山孝治氏により「道路管理瑕疵に伴う国家賠償について—請求事案の分析と事務処理上の改善点—」を掲載致します。

◇◆地域における道路行政に関する取組み事例◆◇

★南海トラフ巨大地震に備えて緊急避難路及び避難スペースを整備しました★ (国土交通省 四国地方整備局 大洲河川国道事務所 道路管理課)

大洲河川国道事務所では、今後、高い確率で発生が予測されている南海トラフ巨大地震に備えて、津波等被害発生時の高所への緊急避難を想定して、「緊急避難路及び避難スペース」の整備を進めています。また、緊急避難路を利用した地域住民が参加する避難訓練を地元自治体と協力して実施しました。これらの取組みについて報告します。

.....

★長野県の道路管理の取組みについて★ —道路の長寿命化修繕計画・「道の駅」機能強化・道路情報システム— (長野県 建設部 道路管理課)

安全で安心な道路サービス提供のため、平成25年6月に策定した「道路の長寿命化修繕計画」、道の駅に防災機能を付加した「道の駅機能強化」、路面状況等の道路画像・情報をリアルタイムで携帯端末等に提供する「道路情報システム」の取組みについて紹介します。

.....

★安全で環境にやさしい交差点を目指して★ (飯田市 建設部)

長野県飯田市の中心市街地には2つのラウンドアバウト（RAB）が設置されていますが、特に平成25年3月に完成した「東和町RAB」は、既存の信号機を撤去してRAB化した全国初の事例として注目を集めており、その概要について紹介します。

◇◆お知らせ◆◇

★平成26年度「道路ふれあい月間」推進標語を募集します★ (国土交通省 道路局 道路交通管理課)

国土交通省では、毎年8月を「ふれあい月間」として、道路の正しい利用や道路愛護活動の推進に努めていますが、この一環として、平成26年度「道路ふれあい月間」推進標語を広く一般から募集します。

◆◆編集後記◆◆

寒い季節のくだものといえば、真っ先に思い浮かぶのが“りんご”。

シャリとした歯ごたえに加え、ほんのりした甘みとさっぱりした酸味のバランスが良く、そのまま果実を食べることはもちろん、料理や菓子にも利用されます。本来、秋から冬にかけて旬を迎えますが、最近では、貯蔵技術が向上し、長期の保存が可能となったため、スーパーなどで1年中みかけることも多く、とても身近なくだもののひとつとなっています。

りんごの栽培は、くだものの中で最も古いとされており、約8,000年前に中央アジアの山岳地で始まったと言われています。その後、ヨーロッパへと伝わり、特に降水量が少ない地域では、飲料水の代わりに、りんごの果汁が用いられ重宝されたようです。また、りんごが人々の生活と深く関わってきたことは、逸話や童話などからも垣間見ることができます。たとえば、旧約聖書の中に登場する“アダムとイブ”は、禁断の果実を食べて、知恵を身につけたとされ、弓矢の名手として知られている“ウィリアム・テル”は、息子の頭にのせた果実を、みごとに射抜いたとされています。このほかにも、“ニュートン”が万有引力を発見するきっかけとなった果実や、グリム童話集の中に出てくる“白雪姫”が食べた毒入りの果実など、数多くのエピソードにおいて、果実＝りんごとして描かれていることが多く、昔から人々にとって身近な存在であったことが想像できます。

幼少時代、風邪をひくたびに、母がすりおろしたりんご食べさせてくれました。すりおろしたりんごは、食欲のない時でも喉を通りやすく、甘酸っぱくて美味しかった記憶が思い出されます。りんごには、疲労回復や食欲増進に効果のあるクエン酸のほか、胃腸の消化を助け粘膜を保護する食物繊維（ペクチン）、体内の水分バランスを整え利尿作用のあるカリウムなどが含まれています。当時は、食欲のないことを忘れ、夢中で食べていましたが、風邪をひき、体力の低下した身体には適している食材であったようです。

今年の冬は3年連続の寒冬と言われています。寒いと体力が低下しがちですが、「1日1個のりんごは医者を遠ざける」というイギリスのことわざがあるぐらい、りんごには、身体に必要な栄養が豊富に含まれています。1日1個はとても食べられませんが、旬のりんごを料理や菓子などに上手に取り入れ、楽しみながら医者いらずの冬を過ごせればと思います。(K)